

学校教育目標	「やさしいっばい 汗いっばい にこにこ笑顔で 夢いっばい」 【知】一人一人の子どもの意欲を引き出し、問題解決に粘り強く取り組めるようにします。 【徳】多様性を尊重し、互いのよさを認め合う気持ちや規範意識の向上を図ります。 【体】安全や健康に気を付け、健やかな心と体を育みます。 【公】様々な人や地域との交流活動、体験活動などを通して、社会参画意識を育てます。 【開】自分自身を見つめ、よりよく生きるために学びに向かう力を育みます。				
	創立 58 周年 児童生徒数: 546 人	学校長 大嶋智子 主な関係校: 橘中学校・保土ヶ谷中学校	副校長 井島恵子	2 学期制	一般学級: 18 個別支援学級: 5

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	橘中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力>	橘中学校 仏向小学校 初音が丘小学校 藤塚小学校 今井小学校	自己肯定感をもち、豊かに表現し、他者と学びあう子ども ・「自分づくりに関する力」を小中ブロックのテーマとして設定し、教育活動全体を通して育成を目指す。 ・教育活動を通して、自分らしさを発揮しようとする力や、他者を理解しようとする態度を培う。

中期取組目標	○「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できるように、多様性を受け入れられる気持ちや態度を育てます。 ○学習内容の理解や学習の楽しさを実感できるように、教材研究・授業づくりを推進し学力の向上を図ります。 ○全教職員で全校の子どもを育てるために教職員間の共通理解を大事にし、相互理解・連携を深め「チーム力」を高めます。 ○同学年や異学年との交流、まちの人々とのふれ合いを通して、学校や地域を愛する気持ちや態度を育てます。 ○家庭・地域との連携、幼保小・小中の連携を推進し、社会及び保護者の信頼に応えた学校づくりに取り組みます。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	確かな学力	①児童の実態把握をしっかりと行い、実態に応じた指導実践を行う。②発達段階に応じ、学年内などで教科を担当する教科担任制を導入し、系統的で効果的な指導を行う。③少人数指導やTT指導、特別支援教室を活用し、家庭と協力をしながら、基礎基本の定着と確かな学力の向上を図る。
徳	豊かな心	①年1回以上道徳の授業について発信する。②異学年集団活動を自主的、意欲的に行うことができるようにする。③多様性を尊重できるような学びの場を計画的に設定する。④自己理解を進め、他者を理解するように系統立てて考えていく。
体	健やかな体	①体力・運動能力調査の結果等を保護者と共有するなど、家庭と連携して体力の向上、生活習慣の改善を図る。②学校保健委員会において各学級の年間の取組から体づくりの大切さについての関心を高める。③給食委員会や栄養士による授業から食生活や健康づくりを考える。
公	地域連携	①パトロールや読書ボランティア、野菜栽培、地域・学校行事等での地域や保護者の方々と意欲的に交流することできるようにする。②総合的な学習の時間においても地域連携を工夫する。③学校運営協議会において学校の経営方針を理解いただくとともに、話し合われたことを教育活動へ生かしていく。
いじめへの対応		①児童の状況について全教職員で情報共有できる場を適宜設ける。②児童の微妙な変容を見逃さないよう、教職員の危機管理意識を高める努力をする。③他者との違いを認め、他者の気持ちを考えられるような学級指導や全体指導を意図的に取り入れる。
特別支援教育		①児童の実態把握についての教職員の理解を深めるとともに学習環境を整備していく。②子どもの学び方を理解し、適切な支援を工夫していく。③他機関とのよりよい連携について考えていく。④個別の指導計画を作成し、個に応じた指導にチームとして取り組んでいく。
児童指導		①学校の決まりの必要性を考えたり、必要な決まりを考えたりする子どもになるよう働きかける。②家庭・地域と協力しながら、挨拶のしっかりできる子どもを育てる。③定期的に児童指導・児童理解の場を設け、児童の状況について共通理解するとともに、指導・支援の方向性について共有化を図る。
自分づくり		①達成感がもてるような一人一人に応じた役割を考える。②長期的な視点で、自分のよさに気づけるように働きかける。③困ったときなどに他者に相談できるスキルを身につけられるようにする。④キャリア教育の視点を大切に。⑤通級指導教室では、自己理解と共に必要な社会性についての指導ができるようにする。
情報教育		①GIGAスクール構想に基づき、児童の学年や発達に応じてプログラミングや情報モラルを学ぶ機会を系統的に設ける。②ICT機器の扱いに慣れ、分かりやすい授業づくりのために活用する。③校務の情報化を図り、業務改善の一助とする。④学校全体の情報活用能力の向上を図る。
人材育成・組織運営(働き方)		①「全教職員で全校の子どもを育てる」という教職員の意識を育む。②管理職、主幹教諭のリーダーシップのもと、服務的な面をはじめ、職務遂行の意識を高め、効率的な運営に努める。③メンターチームの機能の充実を図る。④校内研修を計画的に実施し、教職員の育成を図る。